



美炎

馬頭琴奏者／みほ

profile ●千葉市出身。3歳からバイオリンを始め、馬頭琴を国家1級演奏家チ・ブルグッドに師事。馬頭琴の人間国宝チ・ボラグに認められ、馬頭琴アンサンブルの最高峰、野馬アンサンブルの一員として、アジア各国で演奏。以降、オリジナル曲の作曲や、ゲーム、映画音楽に参加するなど、民族音楽の枠を超えた演奏活動を続ける。

幼い頃から抱き続けた馬への憧れから、手にした馬頭琴をプロの演奏まで極め、演奏活動を続ける美炎さんに、馬頭琴や音楽について思うことを伺いました。

馬頭琴を手にしたきっかけを教えてください。

3歳からバイオリンを弾いていて、物心がついたときから馬がすごく好きだったので、馬の彫刻が付いた弦楽器の馬頭琴は、「私が弾くべき楽器だ」とずっと思っていました。大学1年のときに、馬と暮らしている民族がいるモンゴルを訪れるという願いが叶い、馬頭琴もそこで手に入れました。

23歳のときに、内モンゴル自治区で開催された馬頭琴の国際合宿に参加し、そこからモンゴルと日本を行ったり来たりしながら勉強し、徹底的に練習しました。馬頭琴の人間国宝チ・ボラグに奏者として認められた後、馬頭琴アンサンブルの最高峰と言われる野馬アンサンブルの一員として、アジアの各国で演奏するようになりました。

プロとして活動を始めたのはその頃からですか？

30歳のときに、やりたいことを仕事にしようと思い立ち、馬頭琴奏者のプロとしての活動を始めました。そこから、日本人の自分が馬頭琴で演奏するべき曲はどんな曲なのかと考えるようになり、演奏曲の作曲を始めました。ピアノ、ドラムとともに演奏するオリジナル曲は現在50曲ほどあり、今では、コンサートで演奏する曲の半分以上がオリジナルの楽曲です。

現在は、どんな活動を行っていますか？

コンサートや学校等での演奏活動、CDのリリース、講師、テレビやラジオ出演、ゲームや映画音楽参加など、広く活動しています。コンサートやCDでの演奏は、モンゴル民謡はもちろんのこと、アイルランド民謡、クラシック、ポピュラー、オリジナルの楽曲と、ジャンルに拘らない構成になっています。

美炎さんが思う馬頭琴の魅力とは何ですか？

馬頭琴は、倍音やザラザラした音も出せ、音色の幅や奥行き、広がりが多い楽器です。私は自然が大好きで、風の音や自然の風景を思い浮かべる音楽を表現したいので、馬頭琴は最適な楽器なんです。

そして何より、馬好きにとっては、馬の彫刻が付いているというだけでも魅力的な楽器です（笑）。馬頭琴は足の間に挟んで演奏するのですが、それが馬に乗って走っているような感覚で、子どもの頃から思っていた「馬が欲しい」という願いが叶ったような満たされた気持ちにしてくれます。馬頭琴は、私にとって守神のような存在なんです。

音楽家として心がけていることと、将来の夢は何ですか？

戦争や感染症、自然環境の悪化など悪いことが重なる今、「こういう世界になってほしい」という、祈りに近い願いや、自分の心に湧く素直な気持ちを音にすることで、聴く人が慰められるような音楽を奏でられればと思っています。

私の演奏を聴いて、「景色がすごく見える」と言ってくれるひとがいます。「自分が地球に生きているということ、思い起こさせてくれる」というお客さんもいました。旅好きなので、旅先で見た景色や物語を音にして、自分もお客さんも、日常のいろいろなものから解放されるような音楽を創り続けていきたいです。この先も、いろいろな場所に行っているいろいろな人と出会い、音楽を創り続けていき、「生涯現役」を貫きたいです。音楽家を続けたずっと先の未来に見える景色を、楽しみにしています。

千葉市のみなさんにメッセージをお願いします。

今年チャレンジしたことの成果として、12/23（金）に美浜文化ホールで、ネイティブアメリカンに伝わるホワイトバッファローの伝説に感銘を受け創作した曲と、曲をイメージしたアニメーションがコラボしたコンサートを開催します。馬頭琴とバンドが奏でる壮大な音楽を、ぜひ聴きにいらしてください。